

2021/8/2 恵比寿マンデー



アルメニア

世界初のキリスト教国

エルサレム旧市街のアルメニア人地区

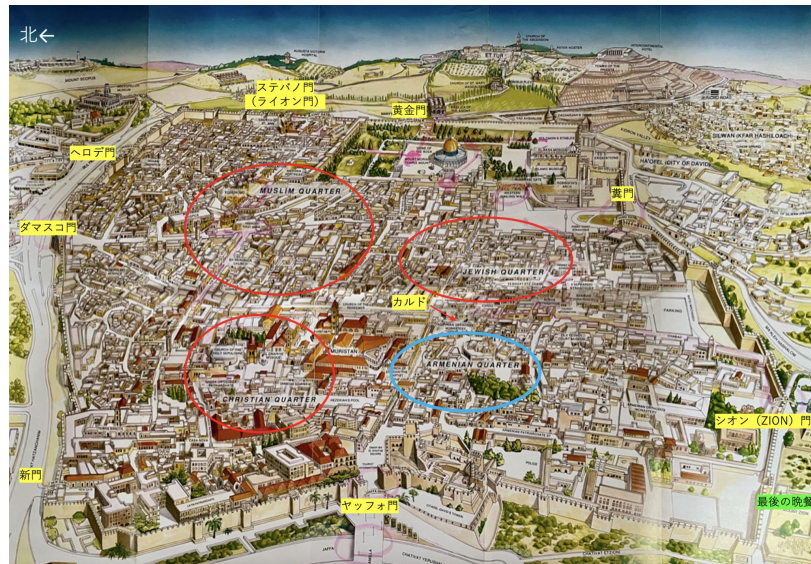
紀元301年 キリスト教を世界で初めて国家宗教に

アルメニア国王の病気 ⇒ 国王の姉妹が 祈りによって癒しの奇跡を行えるキリスト教男性の夢を見た。(当時 投獄されていたキリスト教 グレゴリウス・ルサヴォリッチ) ⇒ 11年間投獄されていたが、国王の命令で呼び出され、国王の回復を祈った ⇒ 癒しの奇跡 ⇒ 国王が太陽礼拝から立ち返り、アルメニアをキリスト教国として宣言

啓明者グレゴリウスによる教会設立 — アルメニア正教

紀元4世紀 アルメニア人修道僧たちがエルサレムに移住、アルメニア人の共同体が誕生

教義の違いからキリスト教地区とは 別の地区を持つ



イスラム教徒地区

ユダヤ教徒地区

キリスト教徒地区

アルメニア人地区

アルメニアの概要 外務省の基礎データ

1 面積

2万9,800平方キロメートル(日本の約 13分の1)

2 人口

300万人(2021年:国連人口基金)

3 首都

エレバン

4 民族

アルメニア系(98.1%)、ヤズィディ系(1.1%)、ロシア系(0.3%)、アッシリア系(0.1%)、クルド系(0.1%)、その他(0.3%)
(2011年、アルメニア共和国国勢調査)

5 言語

公用語はアルメニア語(インド・ヨーロッパ語族に属し、独立の一語派をなす。独自の文字を持つ)

6 宗教

主としてキリスト教(東方諸教会系のアルメニア教会)。

アルメニアは、**国家として、また民族としても、世界で最初に公式にキリスト教を受容した国(301年)**



アルメニアの歴史

前190年～後10年頃 アルタシエス朝古代アルメニア王国成立

1～5世紀 アルサケス朝の支配、ローマとペルシアにより分割

301年 アルサケス朝のトルダト3世、キリスト教に改宗

5～7世紀 ササーン朝ペルシアとビザンツ帝国による分割統治

652年 アラブ勢力により征服

11世紀 セルジューク朝諸政権により征服

1050年頃～1375年 キリキア(アナトリア南東部)にアルメニア系王朝

14～15世紀 ティムール朝、カラ・コユンル朝、アク・コユンル朝による支配

16～18世紀 オスマン朝とサファヴィー朝によるアルメニア争奪戦

1828年 トルコマンチャーイ条約により東アルメニアがイランからロシアに割譲

1918年5月 アルメニア共和国(第一共和国)成立

1920年 アルメニア・ソビエト社会主義共和国成立

1922年 ジョージア、アゼルバイジャンと共にザカフカス社会主義連邦ソビエト共和国を形成、ソ連邦結成に参加

1936年 アルメニア・ソビエト社会主義共和国成立

1988年2月 ナゴルノ・カラバフ帰属を巡るアゼルバイジャンとの抗争が表面化

1991年9月21日 共和国独立宣言

1994年5月 ナゴルノ・カラバフ紛争に関しアゼルバイジャンと停戦協定締結

アルメニアの国章



中央の小盾には 大小二つの峰のある山とその上に止まった箱舟が描かれている。山はアルメニアの象徴であるアララト山（大アララト山と小アララト山）。船はノアの箱舟。大アララト山と小アララト山は、アルメニア・ソビエト社会主義共和国の国章の中央にもあしらわれていた。



「箱舟は第7の月17日にアララテの山地にとどまった。」

創世記8:4

1915年 オスマントルコによるアルメニア人虐殺



オスマントルコ帝国内の **クリスチャンを一掃する命令**

アルメニア人の他、カトリックやギリシャ正教のクリスチャンも虐殺の対象

150万人が 虐殺された

1922年 オスマントルコ滅亡 (1299年から始まった約600年の歴史の終焉)

オスマントルコの後継国トルコは「戦乱の中で起きた不幸」として **虐殺を否定**。アルメニアとの国交正常化の障害。トルコの **EU加盟交渉**が 進まない理由の一つ。アメリカの **バイデン大統領**も アルメニア人虐殺を事実として発言。

今後に向けて

地政学的状況—北の諸国連合によるイスラエル侵攻

北にロシア、西にトルコ(スンニ派)南にイラン(シーア派)
エゼキエル書38:1-6

2600年前にエゼキエルがバビロンで受けた啓示
大患難時代の前に起きる出来事



アルメニアを拠点にして宣教の働きをしていらっしゃるジェイコブ・パースリー先生

トルコ政府は アルメニア人虐殺を認めていないが、クリスチャンになったトルコ人は この罪を告白。アルメニア人に赦しを求めている。和解した両国のクリスチャンが 一緒にイスラム教徒に伝道。

アルメニア人を訓練して 近隣のイスラム諸国に宣教師として派遣する働き

イスラム諸国に対して福音の光を届ける器となれるように。